

令和5年白老町議会産業厚生常任委員会会議録

令和5年3月8日（水曜日）

開 会 午後 1時06分

閉 会 午後 1時25分

○会議に付した事件

1. 委員長の選任について
 2. 所管事務調査の取扱いについて
 3. その他
-

○出席委員（6名）

委員長 森 哲也 君	副委員長 久保一美 君
委員 及川 保 君	委員 西田祐子 君
委員 長谷川 かおり 君	委員 貳又 聖規 君

○欠席委員（なし）

○職務のため出席した事務局職員

事務局 長	本間 力 君
主 査	八木橋 直紀 君

◎開会の宣告

○副委員長（森 哲也君） ただいまより産業厚生常任委員会を開会いたします。

（午後 1時06分）

○副委員長（森 哲也君） 皆様ご承知のとおり、2月28日に広地議員が町長選挙へ立候補したことで公職選挙法第90条により自動失職となったことに伴いまして、現時点で産業厚生常任委員会の委員長が不在の状況になっております。

委員会規則第6条第1項の「委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、副委員長が委員長の職務を行う。」という規定に基づきまして、本日は副委員長において議事進行を取り計らいたいと思います。

本日、招集通知にも記載しましたが、「委員長の選任及び所管事務調査の取り扱いについて」を議題に供したいと思います。

初めに委員長の選任に入りたいと思いますが、まず事務局から説明をお願いいたします。

八木橋事務局主査。

○事務局主査（八木橋直樹君） 委員長の選任について、委員会条例第7条第2項の規定に「委員長及び副委員長は、委員会において互選する。」とありますので、この委員会の中で新たな委員長を選任することとなります。

また、これまでの慣例として、任期当初の互選において委員長及び副委員長は他の委員会の正副委員長や監査委員などの役職と重複して就任しないように選任されているという経緯があります。従いまして、この慣例にのっとるとすれば、本委員会委員の中で他の委員会等々の役職と重複せずに選任できる委員は、森副委員長と久保委員の2名であって、正副委員長のどちらかに就任することとなります。

事務局からは以上です。

○副委員長（森 哲也君） ただいま事務局から説明がありましたが、委員長の選任についてご意見のある委員はいらっしゃいますか。

久保委員。

○委員（久保一美君） いろいろな判断基準があるかもしれないのですが、私と森副委員長ということでしたら、例えば、森副委員長が委員長に繰り上げで私が下につくというのが一番よいのではないかと思うのですが、いかがでしょうか。

○副委員長（森 哲也君） ほかにご意見をお持ちの委員はいらっしゃいますか。

及川委員。

○委員（及川 保君） 久保委員のご意見がありましたが、私も森副委員長を委員長、久保委員を副委員長として選任してはどうかと思います。

○副委員長（森 哲也君） ほかにご意見をお持ちの委員はいらっしゃいますか。

長谷川委員。

○委員（長谷川かおり君） 長谷川です。私も、森副委員長は今まで委員長と共に培ってきた

経験がありますので、森副委員長が委員長になって久保委員が副委員長になるというのがよろしいかと思えます。また、私たちも広地委員長が抜けた分バックアップして運営していければという考えでおります。

○副委員長（森 哲也君） 貳又委員。

○委員（貳又聖規君） 貳又です。私も皆さんの意見と同様です。

○副委員長（森 哲也君） 西田委員、ご意見があれば伺いたいと思います。

○委員（西田祐子君） 特にありません。

○副委員長（森 哲也君） 皆様からご意見をいただきまして、私が委員長、久保委員が副委員長にというご意見が多くございましたが、よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（森 哲也君） ありがとうございます。

私は今まで副委員長を務めさせていただきましたが、これより産業厚生常任委員会委員長に就任させていただきます。

産業厚生分野というのは、町民生活に多く密着する部分でとても重要な委員会であると捉えております。広地元委員長と一緒に務めさせていただきました、たくさんのことを学びました。残り短い任期ですが、今後も委員会運営をスムーズに行えるように一生懸命頑張っ参りたいと思っておりますので皆様どうぞよろしくお願いいたします。

○副委員長（久保一美君） ただいま副委員長に選任されました、久保です。委員長、副委員長の立場というのは全くわからないので、森委員長といろいろ相談しながら迷惑がかからないように進めていきたいと思えます。よろしくをお願いいたします。

○委員長（森 哲也君） 次に、協議事項の2番目の所管事務調査の取扱いについてでございます。3月までの調査テーマにつきましては「物価高騰が町内産業に与える影響について」と報告をしておりましたが、年明け以降に委員会を開けていない状況であったことから、3月会議において報告することは難しい状況であると考えております。本テーマについては継続審査とし、6月会議にて報告する流れと考えておりますが、委員の皆様のご意見を伺いたいと思えます。ご意見をお持ちの委員がございましたら挙手のうえ発言をお願いします。

及川委員。

○委員（及川 保君） 事情が事情でこういう状況になりましたけれども、決定した所管事務調査を6月まで継続して進めるということではいかがでしょうか。

○委員長（森 哲也君） ほかにご意見をお持ちの委員はいらっしゃいますか。

長谷川委員。

○委員（長谷川かおり君） 長谷川です。今本当に電気、ガス、灯油、そういったものの値上がりに伴って食品類なども値上がりしております。各事業所また町民にとっても物価高騰対策というのは大変なことだと思えますので、町としての取組とか事業所の実態などを把握するためにもしっかり取り組んで、6月会議で報告できればいいのではないかと思えます。

○委員長（森 哲也君） ほかにご意見をお持ちの委員はいらっしゃいますか。

西田委員。

○委員（西田祐子君） 今回の産業厚生常任委員会の所管事務調査につきましては、昨年の12月に決めたわけなのですが、先ほど森委員長は諸般の事情によりできませんでしたという言い方で片づけていますけれども、現実的には前委員長は委員会を開かなかったということもあります。町長選挙に立候補するために委員会ができなかったのですけれども、残された委員といたしまして、私は議長にも個人的に少しお話したことがあります。森副委員長を代理にして委員会をきちんと開くようにしてはいかがでしょうかという話をしましたけれども、それが今回はできませんでした。これは、議会の委員である私たちが町民に対してきちんと責任を果たせなかったということになるわけですから、そこは反省して今後このようなことがないよう委員会として活動していけるような状況をつくってほしいと思います。

今回の委員会報告については、6月までにまとめて出すしかないのでしょうけれども、本来であればきちんと3月会議に報告できるはずだったのです。前委員長はあのような状況で自動失職となりましたけれども、副委員長が代理でということは幾らでもできたと思うのです。そこをきちんとしてもらえなかったということもとても残念だと思っております。仕方ないと思いつつも、私個人としましては町民の皆様方に、きちんと委員会活動をしなかったことについて反省いたしますと議事録にきちんと載せていただきたく発言させていただきました。

○委員長（森 哲也君） ほかにご意見をお持ちの委員はいらっしゃいますか。

貳又委員。

○委員（貳又聖規君） 貳又です。私は、6月まで継続というのは仕方ないことと思っております。ただ、今実際に気になっているところとして、電気料高騰等に伴っての白老町民の世帯に対する助成金5万円。総務課で担当していましたよね。例えば私の親の状況でいったら、母が12月に亡くなったのです。父に12月中に通知が来ていたのですが施設に入っているものから、私もなかなか気づかなくて、家の掃除、片づけをしていて2月に気づいたのです。締切りは確か1月末だったのです。それで私が気になっているのは、たまたま私は気づいたからよかったけれども、気づかない高齢者の皆さんはまだいらっしゃるのかなと思うのです。ですから、それが実際に100%町民の該当者に行き渡っているのかどうか気になっているのです。これは今回一般質問等の機会がないですから、その辺はしっかりと現況調査をしなければならないのかなというのがありました。

それから、各事業者さんの立場になると、コロナ融資の返済が始まってきます。実際にはそれが厳しくて倒産してしまうようなところが出てくるということで、私の知る範囲でいくと、結構苫小牧の飲食店では実は3月末でクローズしますというところも出てきておりますので、我々委員会としては町内のこともしっかり注視しながら進めていかなければならないのかなという思いがあったものですから、その部分を2点発言させていただきます。

○委員長（森 哲也君） ほかにご意見をお持ちの委員はいらっしゃいますか。

所管事務調査のテーマ「物価高騰の町内産業に与える影響について」を6月報告で進めようと思うのですが、西田委員のご意見はとても重要な意見だと思っております。今回委員会活動が空白になったことは反省しなければならないことだと私も捉えております。貳又委員からもご意見がございました。物価高騰について今後6月に向けてきめ細かく調査していくことが今

後重要になってくるのかと私も考えますので、6月に向けて「物価高騰が町内産業に与える影響について」所管事務調査を継続したいと思います。

暫時休憩します。

休憩 午後 1時22分

再開 午後 1時24分

○委員長（森 哲也君） 休憩を閉じて委員会を再開します。

ほかにご意見をお持ちの委員がいらっしゃらなければ、「物価高騰が町内産業に与える影響について」所管事務調査を継続し、6月会議にて報告するという流れで進めたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（森 哲也君） 次回の日程についてですが、正副委員長において町側と調整のうえ4月中には招集したいと思いますよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（森 哲也君） それでは、そのように進めさせていただきます。

◎閉会の宣告

○委員長（森 哲也君） 以上を持ちまして、産業厚生常任委員会を閉会いたします。

（午後 1時25分）